



六番だより



NO!!!人間やめますか 薬物乱用って、なあに？

薬物乱用とは、ルールや法律から外れた目的や方法で使用することをいいます。
覚せい剤や麻薬などは1回使用しただけでも乱用にあたります。



●コカイン

幻覚や妄想が現れる。大量に摂取すると全身痙攣を起こす他、死に至る。



●大麻(マリファナ)

知覚を変化させ、パニックを起こすこともある。乱用を続けると、人格変化を起こす。



●覚醒剤

幻覚や妄想が現れ、中毒性になりやすい。使用をやめてもフラッシュバックする。



●MDMA

知覚を変化させ幻覚が現れることがある。大量に摂取すると高体温になり、死に至る。

隠語

薬物は、別の呼び名で呼ばれていることがあります

- 覚醒剤・・・エス、氷、アイス、シャブ
- 大麻・・・ハッパ、チョコ、野菜、クサ
- MDMA・・・エクスタシー、バツ、タマ

薬アブナイ..... ☠



保護者のみなさまへ

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」
～子供たちを薬物乱用から守るために～

子供のまわりには 危険が いっぱい



子供たちの身近にあるスマートフォンやパソコンを使って、インターネットから危険な薬物が簡単に入手できてしまいます。うちの子に限って……と油断せず、十分に注意して見守ることが必要です。

子供を薬物から守る チェックポイント



子供の言動に変化がありませんか？

- 帰宅が遅くなることが多くなった。
- 理由の分からないお金を欲しがようになった。
- 食事を家族と一緒に食べなくなった。
- 目を合わせて会話をしなくなった。

子供を取り巻く環境に目配りを！

- 子供にスマートフォン等を持たせている。
- 子供にインターネットにいつでも接続できるパソコンを使わせている。
- 子供が中学生・高校生と遊ぶことがある。もしくは、友達関係がよく分からない。

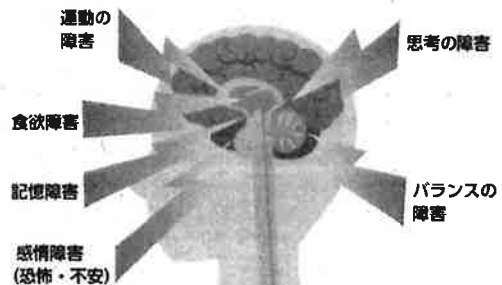
1つでも☑があれば注意が必要です！

薬物は子供の脳に ダメージを与えます。

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、心と身体をコントロールする優れた仕組みを持っています。しかし、薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージを与え、乱用が続くと様々な障害を引き起こします。

特に成長期にある青少年の脳は成人に比べて影響を受けやすいため、注意が必要です。

主な脳への障害



厚生労働省



文部科学省

隣組回覧